



第47回「おかねの作文」コンクール

両親の教えから考えること

東京都・小金井市立緑中学校 3年 箱井 悠理

私の家では、生活必需品は別として、なかなか欲しい物をすんなりと買わせてくれません。その品物が自分にとって、本当に必要なものなのか、支払う価格に見合うだけの価値があるかどうかを、時間をかけて考えさせられます。その時は、絶対に欲しいと思っているからこそ交渉しているわけで、それなのに何日も勿体ぶる両親を不満に思っていました。

しかし、最近、あることをきっかけに私は自分の考えを改めました。あるきっかけとは、友人が自分の部屋を大掃除して、たくさんの物を捨てたという話に触発され、自分もいらぬ物を処分しようと、整理を始めた時のことです。私の持ち物は、ほとんどが何日も迷った揚句にやっぱり欲しくて買った物ばかりです。それを手に入れた時の喜びはとても大きかったし、その分大切に使ってきました。だから、まずいらぬ物など、そんなに無いのです。考えてみれば、今まで買い物をした後で後悔をした記憶もありません。それに気づいてやっと、両親の考えがわかった気がしました。よく考えてお金を遣うことは、無駄遣いを防ぐだけでなく、物を大切にすることも繋がるのです。これは、物を消費する生活において、一番大事なことだと思います。また、買ってよいものかどうかを何日も考えていると、時として気持ちが冷めたり、それよりもっと欲しい物が現れたりすることがあるのも事実です。むやみに買わないということは、お金には限りがあるのだから、我慢をしたり、買う優先順位をつけなくてはいけないことを学んでいるのだと思いました。

そうしたことに気づき、改めて今まで家庭の中で、お金について教えられてきたことを、思い返してみました。おそらく最初に教えられたことは、「お金は働いて得られる大事なもの」だったと思います。そこから私は、お金は価値あるもの、ありがたいもの、嬉しいものといったイメージを持ったと思います。そして次に「人前でお金の話をしてはいけない。お金にこだわりすぎるのは、

心が卑しい」だったと思います。それまでのお金の良いイメージに反して、お金のもつタブーな部分や怖さみたいなものを感じて、^{おそ}畏れの意識を持ちました。実際、お金のせいで心がすさんだり、人生が狂ってしまったたりということはあります。このお金が持つ正負の力を考えてみても、お金との関わり方というのは、とても難しいのでしょうか。私が少し大きくなって、お年玉など自分のお金というものを持つようになると、今度は、自分のお金での損得ではなく、家族というまとまりの中でお金の遣い方を考えるように言われました。私のお金だからいいんだという無駄遣いは、結局は我が家としての無駄遣いでもあるということです。また、自分のお金を大切にすあまり、親に出してもらう分には、雑な遣い方をするとするのもそうです。しょせん子供は、労働の対価として、自分がお金の価値を生みだしているわけではないという自覚を促されているのと、お金の動きを、より大きな視点で見るように気づかされているのだと思います。

こうした教えに基づいても、やはり現実にお金を上手に遣うのは、なかなか難しいものだと思います。母いわく、お金を遣うことに慎重になりすぎて、必要以上に遣うことを惜しむのはダメなんだそうです。お金に執着しすぎると、心の豊かさを失うと。どうやらお金を遣うべき時・所とそうでない時・所とを見分ける力を養うことが肝心なようです。そして、見分ける時のもの差しを三つ教えてくれました。第一に、得られる対価（満足感や幸福感）が、支払った価格と同等以上かを考えるということです。確かに母は、旅先でのちょっとしたぜいたくや、子供へのごほうび、年中行事のご馳走^{ちそう}などを積極的にしてくれています。私たち子供にとっては、そうしたことの楽しかった、嬉しかった気持ちが記憶に残っているものです。第二に、何に重点を置くのか、優先順位をはっきりさせておくことです。母は家族の健康が一番大事だから、少し高くなっても食材は国産にこだわっていると言いますし、子供の習い事や塾を必要なものと考えてくれているみたいです。第三に、人を喜ばせるために遣うお金は価値があるということです。そこで私は、先日姉がケーキを買って帰ってきたことを思い出しました。大学生の姉は、最近バイトを始めたばかりで、その日働いた分のお給料と同じくらいのケーキを買って来てくれたのです。普段はしないようなぜいたくですが、家族みんなを優しく暖かい気持ちにしてくれた姉のお金の遣い方は、とても^{すてき}素敵だと思いました。



このように見てくると、お金の遣い方にはその人の価値感や人間性が、如実に表れるようです。まず、私は自分と向きあって、母の教えてくれた三つの物差しを、自分の中に構築していこうと思います。

